

令和3年1月18日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

※この情報は、1月15日 午後5時20分に JSC ウェブサイトに掲載しております。

JSC拠点における新型コロナウイルス感染者の発生について

日本スポーツ振興センター（JSC/東京都港区北青山）が管理・運営する、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC/東京都北区西が丘）の施設利用者（1名/^{※水球}）が、新型コロナウイルスに感染していることが、1月15日に判明しました。

※競技名は、競技団体の了解を得て記しています。

当該施設利用者は、1月12日からHPSC内の国立科学スポーツセンター（JISS）内プールおよびアスリートヴィレッジ等を利用していましたが、1月14日にPCR検査を受け、陽性が確認されました。

これに伴い、当該施設利用者の行動範囲を確認し、当該施設利用者及び同じ競技の選手・関係者が利用していたプールおよび客室について、1月14日より利用を中止していましたが、保健所より、施設内に濃厚接触者はいないことが確認されており、プールについては、清掃・消毒作業を行った上で、1月17日から利用を再開しています。また、客室等については安全確認を行った上で順次利用を再開していく予定です。

HPSCでは、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っていることから、現在利用を中止している施設を除き、他のHPSC各施設の利用は継続しています。

なお、現時点でHPSCの他の施設利用者、関係者から体調不良の報告はありません。今後、保健所の指示に従い、適切に対応してまいります。

HPSCでは現在、外部来訪者、職員への施設の入館に対しては、入館時にマスクの着用、手指のアルコール消毒、サーモグラフィーによる検温を行い、チェックシートによる前2週間の体調管理等を行っています。

また、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っています。

今後も感染拡大防止と、施設利用者、関係者、職員の安全確保を最優先に運営を行ってまいります。

以上